

小学生の部

優秀賞 (10句)

ひまわりにぐるっと見せる逆上がり	(花川小4年 谷口 真)
花火をね見ると心もはね上がる	(花川小4年 氏家 排)
さくらの木心のカメラでとっておく	(花川小5年 塚田 真)
银杏の葉ひらひら落ちる風の舞	(生振小6年 船水さ)
夜桜が散りゆく孤独を教えけり	(南線小6年 泉谷 真)
夏休みおばけやしきでちがうあせ	(紅南小5年 松浦 真)
七夕によくばりすぎた願いごと	(紅南小6年 横山 真)
菜の花がほんわか薫る通学路	(八幡小5年 須田 萌)
たんぽぽはわーいはるだとさけびます	(緑苑台小2年 北村 真)
かぐわしい塩のにおいは夏の海	(双葉小6年 石王 大)

佳作 (20句)

夏の日に広き草原走りたい	(石狩小6年 市川 真)
冬の朝登校中に白い息	(花川小5年 並木み)
新学期心をあらためさあ一歩	(花川小5年 宮松 真)
太陽の日差しぎらぎらあそビーチ	(生振小6年 小黒 真)
風りんは心なごます音を出す	(南線小3年 管 真)
夏の朝すぶり百回きびしいな	(南線小6年 吉澤 真)
夏休みあつくて金魚がさわいでる	(南線小6年 橋本 真)
雨の日も誰か待ってる猫ひとり	(南線小6年 鎌田 真)
夜の海かがやく月と波の音	(南線小6年 一宮 真)
あじさいとてるてるぼうずと雨の空	(南線小6年 川上 真)
日食を並び見上げる初夏の空	(花川南小4年 佐藤 真)
ちくわおりくさぶえふくよなつのそら	(紅南小1年 見上 真)
なつがきたしょうゆばったがでてきたぞ	(紅南小1年 島野 真)
雪とけて遊ぶ力があふれだす	(紅南小4年 小林 真)
合宿で夜は宿抜け肝試し	(紅南小6年 石黒 真)
クールビズ朝は寒いが昼涼し	(八幡小5年 後藤 真)
そうめんがつるつるすべるよ竹の上	(緑苑台小4年 小川 真)
風鈴の音色と共に葉が揺れる	(双葉小6年 中出 真)
休みの日兄と作った雪だるま	(厚田小5年 中島 真)
せみが鳴く心和らぐハーモニー	(浜益小6年 藤巻 真)

中学生の部

優秀賞 (10句)

夏風のお手紙きみは今何処に	(石狩中3年	北條 真
まつぼっくり去年の秋の落とし物	(花川中1年	田村 真
夕暮れに枯れ葉カラカラおにごっこ	(花川中1年	津田 真
聞くだけで体温上がるセミの声	(花川中2年	若林 真
夏の日の海に響くは笑い声	(花川中2年	藤井 真
石狩のほほにしみ入る冬の風	(花川中2年	小笠原 真
うちわ持ち素麺すする夏の昼	(花川中3年	小條 真
春風に背中押されてランニング	(花川北中3年	中屋 真
ラムネびんすかして見えた花火玉	(花川北中3年	黒木 真
大仏や春の日浴びて救いの手	(聚富中3年	佐藤 真

佳作 (20句)

梅雨があげ晴れた空にはにじの橋	(花川中1年	若澤 真
ゆらゆらとすすきがゆれる銀の床	(花川中1年	小條 真
夜空見てうたいつづけるキリギリス	(花川中1年	坂口 真
たんぽぽのわたげがとんで長い旅	(花川中1年	杉本 竜
春の庭涼しいここは青い部屋	(花川中1年	鈴木 真
いつ来たの私の部屋に春の虫	(花川中2年	齋木の
日焼けする黒くなってもまだ焼ける	(花川中2年	匂坂 真
太陽の下で微笑むひまわりよ	(花川中2年	石川み
雨上がり虹が顔出す夏の空	(花川中3年	蛭間 真
天の川織り姫彦星会えたかな	(花川中3年	村谷 真
旅立ちを見守るサクラいつまでも	(花川中3年	斉藤 真
初夏の都市雨ふる中でソバ食べる	(花川南中3年	林 夏
滝落ちて森にとどろく水の音	(花川北中3年	女 真
せみ鳴けばいい風吹きし昼寝時	(厚田中1年	伊東 真
海の青山の緑で鮮やかに	(厚田中1年	山内 真
炎天下汗を噴き出す野球人	(厚田中2年	上山千
寒空に白きため息のぼりけり	(厚田中3年	長内 真
涼風が吹きぬける先京の街	(聚富中3年	佐々木 真
雨上がり雲のなみだがあさがおに	(浜益中1年	上野 真
すくすくと育った稲見てほっとする	(浜益中3年	菅原 真

【選者】
「俳句のまち・いしかり実行委員会」
小泉 千孝 氏（石の花俳句会）、野原 勝行 氏（石の花俳句会）
樋口 博 氏（石狩文芸同好会）、浦島 秀男 氏（石狩アララギ短歌会）
島崎 貴子 氏（浜防風）、五十嵐満行 氏（石狩憩吟社）
安藤 良子 氏（石狩短歌会）